

経営比較分析表（令和4年度決算）

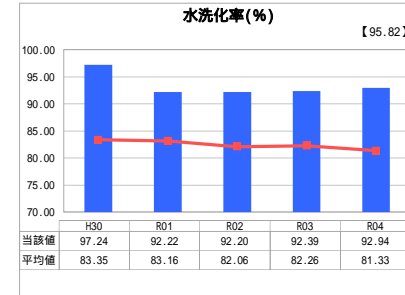
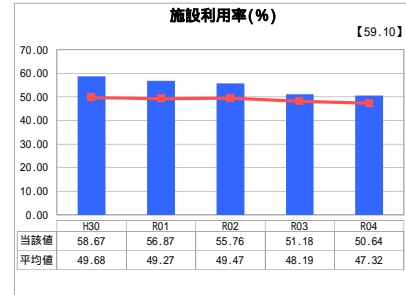
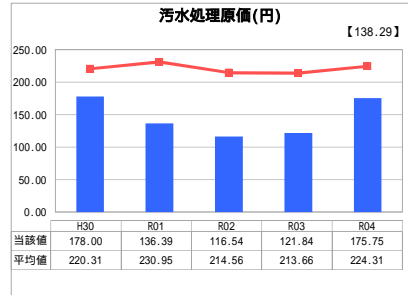
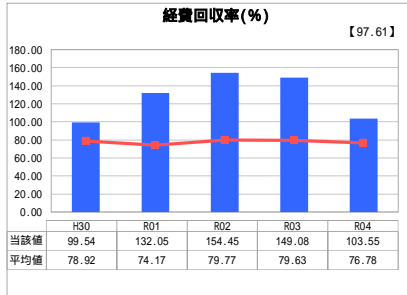
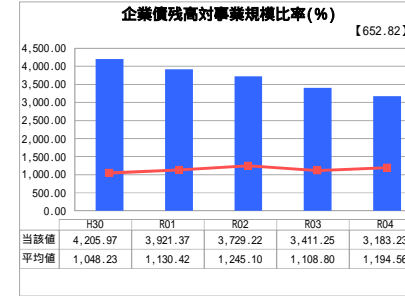
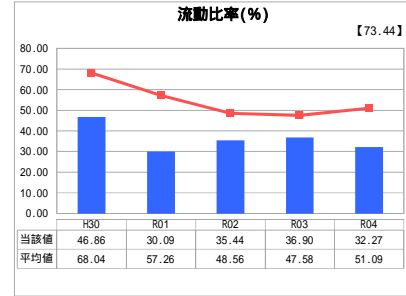
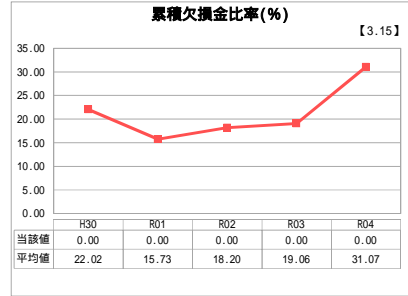
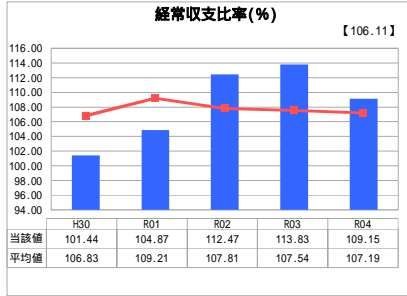
兵庫県 多可町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	49.03	36.13	88.09	3,795

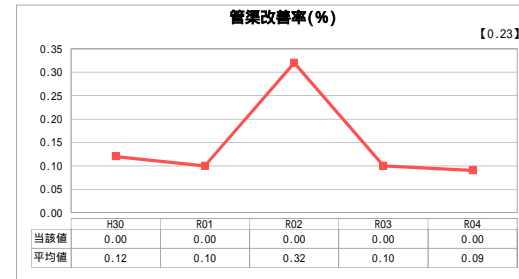
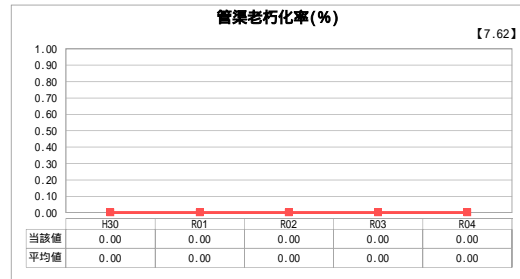
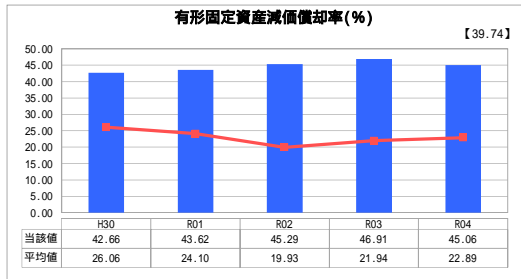
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,463	185.19	105.10
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
6,971	3.25	2,144.92

グラフ凡例
当該団体値(当該値)
類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・経常収支比率については100%以上となっており、収支は黒字になっている。これは、高資本費対策経費を繰入しているためではあるが、この繰入基準は供用開始後30年までの施設が対象で、当町では、令和9年度以降は対象外となる。このことから、その後の指標には注意が必要である。
- ・流動比率の値が100%を下回り、また企業債残高対事業規模比率が類似団体と比較して高くなっているのは、本町が中山間地域にあるため処理人口が小規模の割に、当初の下水道管渠建設に多額の費用がかかり、その地方債借入額が高額であることが影響していると考えられる。
- ・経費回収率が100%以上となっているが、これは、経常収支比率と同じく高資本費対策経費を繰入することで100%以上となっているため、繰入基準の対象外となる令和9年度以降の指標に注意する必要がある。
- ・汚水処理原価については、使用料単価150円/m³より高くなっている。今後は処理原価を低減させるため、維持管理費の削減が必要である。
- ・施設利用率については、人口減等により使用水量が減少しているため、減少傾向である。当町では、処理施設の統廃合計画を進めており、統廃合を進めることにより本指標は向上する見込である。
- ・水洗化率は92%と類似団体平均値より高い値となっている。今後も経営安定化のため水洗化の向上に努めたい。

2. 老朽化の状況について

管渠は、最も古いもので建設から20年経過程度で、直ちに老朽化の問題があるわけではないが、将来の改築更新に係る財源確保に関して考えていく必要がある。

全体総括

本事業は、処理区域が中山間地域にあるため処理人口の割に整備管渠延長が長くなっている。そのため、管渠整備費が高額となり、建設時に借り入れた地方債の償還が現在も経営を圧迫しており、今後10年間は同様の状況が続く。
また、今後、処理施設や管渠の更新を考慮した中長期的な収支計画を策定し、料金改定の検証を行うことで健全な経営に繋げたい。

「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。